

## 1年生 生活科「楽しい秋いっぱい」



道徳的なねらいとして『友情・信頼』『自然愛護』を意識して行いました。

一碧湖畔のキンモクセイの甘い香りや、訪れるたびに变化する木々の変化に驚きの声をあげていました。集まってくる鳥や魚たちを見ながら「小さい魚もいるよ。静かにしないと魚や鳥がびっくりするよ。」と自然や生きものを大切にしていこうという気持ちが膨らみました。



(一碧湖で見つけた葉を使ったアクセサリー)



(磁石の代わりにセンダングサを使った魚釣り)

家の周りや登校途中で木の実や木の葉を見つけ、見せ合うことで、木の実にも様々な種類があることに気付きました。そして、秋の物を使ってみんなで遊びたいと考え、グループ活動が始まりました。秋の物を使ってより楽しいおもちゃを作ろうと、子どもたち同士、アイデアを出し合い役割を分担し、お店を出して遊ぶことになりました。活動の中で、時には友達とぶつかる事もありましたが、譲り合ったり解決方法を考えたりする姿もありました。身の回りの自然の美しさ、素晴らしさを感じながら、仲間と共に活動する楽しさを十分に味わった生活科「楽しい秋いっぱい」です。